

部局名	総務企画部	所属名	秘書課	所属長名	石塚 則子	電 話	483-1151 内線2302
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3011		事務事業名称	秘書総務事業						短縮コード	経常	3011	臨時	3012
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市表彰規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
市長の秘書及び渉外に関する総括的な事務であり，秘書業務は市政施行当初，また，表彰は昭和36年から規則化している。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために						
「市民対話」は、市長自ら市民や市民団体と対面し、市政に対する意見交換をする場である。市民ニーズが多様化する中で、市民参加を推進していくためには、その意義は大きく今後も継続し、いろいろな場面を通じて市民や市民団体との意見交換を積極的に進める。						大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
						中 項 目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進						
						小項目（施策）	02	市民参加体制の充実						
						細 項 目	03	市民ニーズの的確な把握と市政への反映						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	1. 市長，副市長，庁内各課，関係機関(市民) 2. 市政に功労のあった個人・団体・法人(自治・産業・教育・文化・社会事業・衛生・民生・消防・防犯・市政・善行者) 3. 各種団体，グループ						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 1. 渉外事務 （1）翌年度の行事予定を事前に把握する。（2）関係部門と業務内容について検討する。（3）外部機関、関係者(市民)との連絡・調整を行う。 2. 表彰者 （1）各部に候補者の推薦依頼し、表彰規程に基づき庁議で審査する。（2）決定者に表彰式への通知をする。（3）表彰式を挙行(11月23日)する。（4）その他の善行者・寄付者に対しては、随時表彰する。 3. 市民対話 （1）市長対話・講話の日程を調整する。（2）市長対話・講話内容の打合せを行う。（3）対話・講話資料を作成する。						
	※平成22年度に計画していること： 21年度と同様						
意図 （何を狙っているのか）	1. 市長、副市長の公務を効率的且つ効果的に遂行する。 2. 市政に功労のあった者や市民の模範となる者の功績に報いるため、表彰を行い広く周知することにより、市民に市政への貢献意識を高めてもらう。 3. 市民参加型の市政運営の一環として、多くの市民の意見を聞くためである。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	20年度	21年度		22年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民及び市政に貢献した個人・団体	件	44	50	59	50
	指標2	市長対話・講話の団体	件	25	30	15	25
	指標3						
活動指標	指標1	表彰審査件数	件	44	50	59	50
	指標2	市長対話・講話申込件数	件	25	30	15	25
	指標3						
成果指標	指標1	表彰件数	件	44	50	59	50
	指標2	市長対話・講話実施件数	件	25	30	15	25
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3011	事務事業名称	秘書総務事業			所属名	秘書課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			市長の秘書及び渉外に関する事務業務であるため、現状維持となる。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			義務的な経費を除き、交際費・旅費等の個々の内容を検討し削減に努めるが、相対的な経費については変化なく、その成果も一定している。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
「市民対話」や「市長講話」は、市の実情や将来計画等が見えてきて有意義だったので、今後も続けてほしい。	

所属長コメント	渉外事務のうち、交際費の削減は一定の見直し効果が得られており今後も努力していく。表彰事務等の諸事務は現在の水準を維持しながら内容の充実を図る。市民対話については今後も積極的に推進する。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		